

会員だより

※氏名の後の（ ）は退職年を示す。



大崎クラブ
小岩欽治郎(平27)

27年3月、余力2年を残し契約社員の更新をせず退職しました。

東京・新宿電報電話局を皮切りに23年間、そして、宮城・古川電話局に転勤してから21年間、その間に古川（現大崎市）に居を構え7年間仙台まで新幹線通勤しました。

30年表彰の記念に、いずれ自分が介護されることを想定し「ホームヘルパー2級」を取得しましたが、今のところ被介護者にならず丈夫な体に産んでくれた両親に感謝です。

中学校以来ソフトテニスが続け

ており、27年10月に山口県で開催される「ねんりんオリンピックソフトテニス大会」に出場することになりました。同年代のテニス仲間との交流を楽しんできたと思います。テニスを続けられるのも文句も言わず送りだしてくれた妻に感謝、今日もテニスを楽しんでいます。

4月から、宮城県社会福祉協議会「宮城いきいき学園大崎校」の学園生として入校、高齢者の生きがいと健康づくり、地域社会への寄与などを目的にし、テーマは「未来に向けて・出会い・生きがい・心は現役」50歳代後半から70歳前半の男女の仲間と新たな出会いがありました。月2回の学習のほか、文化祭（作品展示・コーラス・寸劇など）とか修学旅行（秋田方

面に行きました）などがあり、また、健康長寿を合言葉に新しい同級生とパークゴルフ愛好会を作り楽しんでいきます。

最近の異常気象、関東・東北豪雨では当大崎市も被災しました。幸いにも私の住んでいる地区は水路が溢れる程度でしたが、多くの方から心配の電話を頂きました。最近耳にした言葉「災害は忘れる前にやってきた」東京オリンピックも見たい、サッカーやラグビーのワールドカップも見たい、油断せず、健康で穏やかな日々を過ごしたいものです。



小牛田クラブ
太田 忍(平18)

平成18年に退職し、その後、派遣社員として通建会社に9年4ヶ月程お世話になり、9月末にフリーになったばかりです。小牛田報話局に昭和40年10月に採用されて以来、小牛田に居を構え、50年のサラリーマン生活の殆んどは仙台への通勤生活でした。さて、現

役を引退したばかりなので、これから何をしようかと思案しているのが本音ですが、10月から変わった事と言えば、NHKの朝ドラを「おしん」以来暫くぶりに見る様になった事と体力維持を図るためのウォーキングを始めた事です。今後は、これまで疎かにしていた地域活動への参加やカメラを担いでの小旅行、趣味としての竹細工への挑戦等にと第二の人生の出発点として、楽しく前向に過ごしていこうと思っておりますが、この文章が掲載される頃は、思い描いている様な生活が出来ているかどうか？です。



福島地区電友会
荒木 省一(平22)

東日本大震災の1年前にNTTを退職して通建会社にお世話になり、その通建会社も25年9月末をもって退職しました。通建会社入社早々会津豪雪、そして年明け東日本大震災に遭遇。テレビに映し出された大津波や原発の爆発は大

きな衝撃でした。特に福島は原発事故の影響で、故郷へ帰れない方が大勢います。

このような状況下で、毎日が日曜日になった私は何をしようか悩んだ末、私に残された人生を精一杯楽しんで生きていくことが、夢と希望を一人でも多くの方にもつていただけるとは、自分勝手に正当化することになりました。日本各地の旅を山登りしながら放浪し、行先々で出会った方々とふれあい、少しでも福島の現状を伝えることが出来ればと思っている今日この頃です。



電電相馬クラブ
鶴岡 享治(平25)

NTT東日本一宮城を平成25年3月に退職しました。福島県相馬市に住んでいます。両親をあいっいで亡くして以来、自宅から通える通勤をようやく終えることができました。

電友会への入会は、退職者の会の会長も兼ねる草野さんからの熱

心な勧誘を受けた事と頼まれたら断れないという私の気持ちですが、まるで男女が赤い糸で繋がっているように合致したから他なりません。入会して感じた事は、職場とはまた違った人々の交流が味わえるということです。時間を自分でコントロールできる現在、先輩の意見をじっくりと聞けるので人間成長に大いに役立っています。先人の方々が創設したこの会を通して人と人との繋がりがいつまでも続き、私達はそれを絶やさないようにする事が大事と思えました。



会津電友会
高橋 賢作(平25)

平成25年、元気だった母が余命3ヶ月と言われたのがM社に再就職し2ヶ月後の事で、介護に負われる妻のために会社勤めに終止符を打った。その4ヶ月後、自宅を母を看取ることができ、妻には本来に感謝している。生活に落ち着きを取り戻し、子供達にも勧められ若いうちに海外旅行を楽しもうと

26年10月に『イタリア大周遊11日間』ミラノ、ペローナ、ベネチアピサ、フィレンツェ、シエナ、ナポリ、アマルフィ、カプリ、マテラ、アルペロベッコ、ポンペイ、ローマ、ヴァチカンの旅。また27年7月には『カナダ・アメリカ北米大陸5つの絶景9日間』バンフ、カナディアンロッキー、ラスベガス、アンテロープ、モニュメントバレー、グランドキャニオンセドナ、ナイアガラと旅し、28年も海外へと、夫婦で健康ポウリングリーグ戦に参加し楽しく過ごしています。



盛岡電友会
吉田 正紀(平17)

米沢の窓口からスタート、13回の転勤と連続16年に亘る単身赴任生活を経てNTTを退職し、地元盛岡のテルウエル岩手支店に勤務させていただき、26年6月に団塊世代の最終ランナーとしてのピリオドを打ちました。
3人娘からは、単身赴任のお父

さんも大変だったろうけれど、お母さんの方が今は亡きお祖母ちゃんのお世話等でもっと大変だったのと釘を刺され今も頭が上がりない毎日、家族に感謝・感謝です。やっとな腰を据えて地元で少しでも長男の役割をと思った矢先に大腸癌が見つかり、手術と半年に及ぶ抗がん剤治療を行い3年半を経過しましたが、後悔先に立たず、後は振り返らないことにしています。今は、年をとることを忘れたように元気で行動的な在仙のB型人間の友人たちに酒の肴にされないように一日一日を明るく、元気に楽しくをモットーに行動しています。



水沢地区電友会の会
鎌田 津悟(平24)

退職後激変した日常の生活である。水沢から盛岡まで通勤という毎日なので朝は6時起床7時には自宅を出る。帰りは夜7時に帰宅という自分の生活時間は夜と土日祝日という日々であった。このような生活はサラリーマンとして当



宮古地区電友会
沼崎 敦子(平12)

私は、平成12年7月に54歳でNTT宮古支店を退職しました。町

たり前の事でもあるが、今では起床6時は変わらないが、朝食後お茶を飲みコーヒーを啜り9時までにはゆつたりとした時間を過ごす毎日である。悲しいかな、これで良いのかという情けない気持ちを持ち上がる。これが年金生活者なのだと言いつつも慣れないボランティア活動や若い時分の友人を訪ね毎日を過ごす。さらに歴史好きの趣味が高じあちらこちらの歴史講演会に顔を出すようになった。その上電友会の役員も引き受けてしまい、結局はそれなりに忙しい毎日になってしまった。

退職1年前には、東日本大震災があり記憶に残る大災害でサラリーマン生活は終わった。振り返って思うと、入社時には十勝沖地震があった。震災で始まり震災で終わった会社人生であった。

議会議員だった夫が、町長選挙で当選したことが理由でした。

以後12年間、夫の職務のサポートと91歳だった義母の介護に追われ、現職時代に思い描いていた第二の人生とは違いましたが、その中でも、好きだったコーラス、茶道を始めました。同時に婦人会活動にも誘われやむなく入会しましたが、地区の特殊性から、漁協女性部、婦人防火クラブ、交通安全母の会も兼ねて活動しております。人材難もあり26年からは会長を引き受け多忙な毎日です。

平成19年には、40日も入院する病氣も経験しましたが、現在は健康も回復し家族4人、元気に暮らしております。

震災で自宅を失い、仮設暮らし5年目ですが、ようやく高台の宅地も決定し今年4月には引渡しの予定となり、自宅の建設が始まります。今は、なによりも新居に移れる日が楽しみな毎日を送っております。



北上電友会
小野寺寿雄(平22)

ボケない為の生き方って何だろう。

晋ちゃんの矢が放たれ過ぎて早く退職して7年目に突入間近になりました。全く光陰って奴は困ったものです。この調子で暮らして行くと逝くのもアツと言う間なんだろう。年齢70を間近に迎えた今、庭の草取り以外にも何かもつと成すべき事が未だ一杯在るのではと感じるこの頃です。退職したら妻と車で日本一周と密かに計画しておりましたが、私の退職を待っていたかのように妻が体調を崩し日本一周の計画は夢となりました。退職間際はどの職場も大忙しでしたが、今も在職中よりも忙しい毎日が多くあります。地域の足を引っ張る業務、退職者のサークルで冬季をのぞいて週2回のグラウンドゴルフに山歩き、他にボランティアでの施設慰問、テニスに冬はちよこつとスキー等とサンデー毎日をエンジョイしており忙しい

乍らも楽しい毎日です。また最近心掛けておりますことは、ボケないために数独(ナンプレとも)1から9の数字を9×9のマスに埋めるゲームで上級レベルになるとかなり難解です。それに下手の横好きで十代から弾いてるギターに麻雀。これは両手指の緻密な運動と繊細な思考力を必要とします。よってこれまたボケ予防には最適かな、と自賛。食事では野菜は勿論、青み魚と肉を進んで食し、所謂バランスの採れた食事に心掛けそれと太陽の下でのグラウンドゴルフ、テニス等、頭も体もバツシンの中年で楽しいのです。欲を言えば年金がもう少し多ければと言う所でしょうか?お陰様で私は今の青春を大いに謳歌しております。

人生は楽しいのです
人生は楽しい筈なのです





弘前地区電友会
西谷 憲雄(平20)

通勤等時間に縛られる日々から開放され、早7年目になります。現在、息子夫婦と孫3人、妻と7人暮らしです。何の変哲もない生活が続いています。

唯一妻と出掛けた旅行?は、「津軽三十三観音巡礼」の旅でした。津軽では笈摺(袖のない白衣)に三十三霊場の朱印押したものを、家族や自分の逝く時の浄土への旅衣装とする慣習があると聞かされたのがキッカケでした。かなりの難所もありましたが、延6日間かけて、上り下りの参道を無事巡礼する事が出来、良き思い出が一つ増えました。

OB会の囲碁クラブに参加させて頂き、級位者レベルの私に対戦指導下さる会員の皆さんに感謝です。

また、囲碁のマナーの1つでもある、勝っても負けても「有難うございました」の言葉を大事にし少しでも棋力アップが出来ればと

思っております。

最近、月数回のパークゴルフ下手な囲碁、少しの野菜作り等で毎日を過ごしております。また、町内から依頼され、地元神社の氏子総代を引受けて5年になります。



千秋クラブ
岩澤 正孝(平23)

家庭菜園との付き合いは長く30年程経っており、現役時代はストレスの発散として、退職後の今はトウモロコシ等美味しく食べる孫の顔を見るのが嬉しくて畑へ通っている。

畑までは往復16キロで信号機も少なく楽に行けるが、夏場の朝の収穫と夕方の水遣りで1日2回はガソリン代等を考え、中古のバイクを購入した。

今では新聞配達の方々が使用しているホンダのスーパーカブ(2000年式)だが、頑丈で女性も乗れるよう当初の設計段階から盛り込まれており、いつも厳守している法定速度30kmは余裕で走

ることが出来る。もともと機械いじりが好きなこともあるが、ネットには映像入りのメンテ情報が満載で、クラッチ調整・エアフィルター交換・点火プラグ交換及びオイル交換等をマイガレージで行っている。

バイク運転の楽しみは原付と云えども真夏の風を切る爽快感であるが、それ以上に畑で汗を流したあとの運転の清涼感はビールのぐい飲みに引けを取らない。



秋田県南地区電友会
小林 武佑(平11)

離職して約10年。素晴らしい会社で長年働けたこと、良き仲間と無事過ごせたこと、そしていまだにお付き合いを頂いている当時の同僚の方々等に、年を重ねる度に感謝の念を深めています。

年代的には、まさに戦後70年を歩んだ人生に当てはまる年齢である。子供の頃には、アルバムを見れば軍服に軍刀を下げた叔父や機関銃を構えた父親の写真。そして

映画館に行けば戦争映画を見る事ができた。軍服アルバムは大事に保管してある。今、日本は本当に平和である。「戦争無用」常々思う。

そば打ち約10年、写真歴約10年ゴルフ歴約20年、仲間も増え楽しい日々を過ごしている今日このごろ。(腕はともかく)

健康であることに感謝、仲間感謝。

★お知らせ

「会員だより」コーナーは今回をもちまして終了とさせていただきます。

新コーナー「会員リレーコーナー」どうもしばらくです」にリニューアルします。

(詳細は80ページ参照)

東北電友会会報 編集委員会





会員リレーコーナー

新コーナー

どうも
しばらくです

従来の「会員だより」コーナーをリニューアルしました。

今回登場された会員の皆さんは次回の掲載になりますのでよろしくお願いたします。

(詳細は80ページ参照)

東北電友会会報 編集委員会

※氏名の後の()は退職年を示す。

霞城クラブ
本間 英規様へ



福島地区
齋藤 隆(平13)

からのバトン



過日は、夜分突然のお電話を差

しあげることとなり、大変失礼致しました。しかしながら我が輩の声と名前を今でも覚えていて下さり大変光栄に感じた次第です。

この原稿依頼が舞い込んだ時、鶴岡時代の思い出を書くことに決め、とっさに浮かんだのが本間英規先輩でした。その思い出とは、当時の佐々木栄一局長が提唱なさった、地域のオピニオンリーダーを対象として実施した地域座談会のことです。大兄を始め施設系の方々にも参画して頂き、座談会で得た要望等を業務・施設一体となつて解決するという施策でしたが、特に支障移転等施設に関するものが多く出され、大兄にはその対応に大変ご苦勞をお掛けしたことを、今でも心に残っています。反面、ラインを超えた連携プレー

の大切さを学ばせて頂いたことは我が輩の一生の宝です。あの節は本当にありがとうございました。心から御礼申し上げます。

五ッ橋クラブ
赤井澤正利様へ



青森地区電友会
館山 生木(平15)

からのバトン



寿大学生活を楽しんでいます。今年の4月に寿大学に入学し、大学生活を楽しんでいます。10月中旬には「油川市民センターまつり」でのボランティア活動に参加しました。販売コーナーで、「寿元氣そば」を運ぶお手伝いをしました。各町内会からの作品展示、フリーマーケット、俳句作品展示、陶芸体験コーナーなどがあり、たくさんの人たちで賑わいました。私は、寿大学の趣味的講座で作った「押花ティッシュBOX」を出



寿大学の趣味的講座で作った「押花ティッシュBOX」

展しました。休憩時間に陶芸体験コーナーで「一輪差し」を、小指組紐体験コーナーで「ミサンガ」を作りました。大抽選会では、何と2本も当たり賞品をゲットできました。2日間とも楽しくボランティア活動ができました。会員リレーは、大学の同期で親友の赤井澤正利さんにバトンタッチしたいと思います。彼も私も転勤が多く、東京、仙台、秋田青森などで一緒に仕事をしました。再会したら共通の趣味である囲碁を打ちたいと思います。



電友会さくらんぼ
土田とみ子(平5)

からのバトン

五ッ橋クラブ 平井 妙子様へ

いきいきネットワークの活動が閉じられ、早いもので8ヶ月が過ぎたんですね。

平井さんには本当にお世話になりました。私も16年間ボランティア活動の事務局を担当させていただきましたが、今思うと全てが貴重な体験でした。会員の皆さんとのふれあい、家庭介護で頑張っている方達との涙ながらの語らい、ふれあいハガキがきっかけとなった先輩の方々との交流、などを通じて多くの事を学ばせていただきました。

今は、家の中でうろろしている毎日で、あの頃の緊張感が懐かしく思い出されます。なかでも、平井さんのお力添えで、福祉施設への身体清拭タオルの贈呈を県内

全域に展開させていただいたことは、微力ながら社会に貢献できたことを実感することができ、誇らしく思うことができました。

今年度も、寒河江のボランティアグループ「愛のはと」は、電気通信共済会からの助成を頂き、10月21日に4カ所の老人ホームへ清拭タオルを贈呈し感謝されました。贈呈は、今回で7度目となりますので、これまで約8000枚ものタオルを縫い上げ贈呈したことになるんですね。びっくりです。

話は変わりますが、近頃、認知症という言葉が耳にすることが多くなりました。その予防には、特に2つの事が大切だと聞いております。1つは「きょうよう今日用がある」こと、もう1つは「きょういく今日行く所がある」ことだそうです。

全くその通りだと思います。これを実践するため、毎日できる限り外向きに過ごそうと、自分に言い聞かせております。

平井さんは、その後電友会事務局で活躍されているとお聞きしました。貴女の若さと能力を電友会

活動に発揮していただき、これまでも同様にご指導いただければうれしいです。

お体に留意され頑張ってください。



千秋クラブ
辰 正祥(平6)

からのバトン

北上地区電友会 千葉 俊二様へ

27年5月から「秋田市民俗芸能伝承館」が主催した秋田民謡講座を受講し10月22日修了した。秋田を代表する6名の民謡歌手が月替わりで講師となり6曲の民謡を教授してくれた。民謡は幼少の頃より口ずさんでいたが自己流だったので、この機会に正しい唄い方をマスターしたい思いにかられ始めた。最終月は三吉神社への梵天奉納時に唄われる三吉節で終了となった。翌23日の電電記念日NTT・OB交流会で成果発表の機会をいただき皆様から喝采を受け

自己満足でした。秋田民謡の普及に一層の精進を誓った次第でした。さて北上地区の千葉俊二様私のバトンを受け継いで下さい。貴方とは40年余前に二戸電報電話局で庶務と労務厚生課の係長時代苦楽を共にし、公私に大変面見してもらった大恩のある人生の先輩でもありました。特に当時運転免許証のなかった私に、局長、課長を説得してくれ半ば強引に自動車学校に引率してくれ、お蔭で取得できたご恩は忘れられません。8月高齢者講習を受け免許証の更新をしました。クローバーマークをつけて北上湯田の千葉様に会いに行きたいです。



五ッ橋クラブ
武藤 恭(平18)

からのバトン

五ッ橋クラブ 渋谷 悦男様へ

平成15年にNTT東日本埼玉支

店よりドコモ東北に来て以来、ドコモ東北、ドコモエンジニアリング東北を経て、平成26年7月にドコモサービス東北とドコモエンジニアリング東北が合併し、ドコモCS東北が発足して1年が経ちました。この間、関係する皆様に変お世話になり大変感謝しております。

私事ですが、平成27年7月から非常勤となり、さぞ自由な時間を気ままに過ごせるかと思いきや、いろいろとご厚誼を頂いた方々等からお誘いを受けたり、これまでできなかったことなどに気を配っているとの時間的余裕は余りないような有様で、もう少し心の余裕を持たねばと思っている今日この頃です。

次にバトンタッチをお願いするのはドコモサービス東北でご活躍を頂いた渋谷悦男さんです。



退職して早13年、その間、消防のラッパ隊、パソコンインストラクター、絵手紙教室等々経験しましたが、趣味の中で一番長く続けているのがハワイアンフラです。習い始めは覚えられなくて何度か辞めようと思いましたが、運動不足を補うため、素質もないままに続けていたら13年も経っていました。

今では地域のイベント、施設へのボランティア、時には県外までも行くようになりました。フラは笑顔と姿勢が大事と言われます。舞台での適度な緊張感と、終わった後の開放感は元気の素に変わります。アロハの心をひとつにして皆と踊る楽しさ、時にはハワイの文化を学びつつこれからも踊りたいと思います。

石巻電友会
千葉 絹子(平14)

からのバトン

五ツ橋クラブ 江口多恵子様へ

ところで、通信機器の会議で何度か一緒だった江口多恵子さん、お元気でしょうか。

退職者の旅行会では、お粗末ながら一緒にフラを踊らせていただきましたね。また機会があったら踊れることを願いつつ次の便りを江口多恵子さんに引き継ぎたいと思います。



むかって右から2人目が筆者



おしばらくです。皆さんに支えられ元気でおります。退職してからは毎日地域の方々や仲間の皆さんと場所と中味の異なる事を楽しみながら日々を送っております。顧みますと民生委員、納税関係、傾聴ボラ、OBルーム(サロン)活動色々ありましたがその中でも退職した友人3人で頑張っている昔話語り部。今年で15年ぐらいいなっております。県内外の多くの人との出会いがきっかけで絆の輪・和が大きくなり元気と勇気を肌を感じながら老化防止に続けたと思っています。又退職してから取得した運転免許。これは私にとって1番の財産のように思います。OBルーム(サロン)の催しものをクリアするのも本当に楽しいです。1人暮らしは自由もある

遠野地区電友会
田代 明子(平6)

からのバトン

盛岡電友会 館澤 義雄様へ

会友コーナー

文芸

俳句

短歌

川柳

詩

随想

文芸欄



五ツ橋クラブ俳句同好会

青山 誠一

早朝の遊歩に映ゆる冬木かな
小春日や砂丘におよぶ遠汽笛
釣舟を沖へと誘ふ冬銀河

俳句

福島地区電友会

関戸 武

冬めくや母の手垢の火消壺
立冬やかまどに二本火吹き竹
クリスマスアルミホイルのちぎる音

弘前地区電友会

倉谷 景子

水のごと大満月は手にあふれ
银杏散る香りかすかや坂の上
賀状来て足跡光る朝の道

俳句

短歌

川柳

詩

随想

五ツ橋クラブ俳句同好会

青山 誠一

早朝の遊歩に映ゆる冬木かな
小春日や砂丘におよぶ遠汽笛
釣舟を沖へと誘ふ冬銀河

赤木 善男

影伸びてほろ酔い歩く秋の暮
鮭遡上川の築場で打たれけり
天高し父母の逝きたる年を越え

斎 仁二郎

おでん喰うときの笑顔の幼なさよ
秋灯術後のナース慈母のごと
瞬きは妻棲む星や冬銀河

佐々木栄一

白銀しろがねの天守遙かに鳥渡る
毎日の散歩が命暮の秋

断捨離に明け暮れ老の日の短か

菅原 了二

故郷の白菜もらふ碁敵こがたきに
青空の恵みを削る冬の風
冬の芽の赤き膨らみ名は知らず

富樫 瞭

大輪の花火終わりて真の闇
花びらの落つるが如き秋の蝶
身に入むや父の遺せし住所録

川柳

五橋川柳会 会員作品抄

赤木 邦夫

パソコンにぶつぶつばやく仕事人
言われてた大器晩成もう定年
咲いた花散るのは覚悟乱れない

金澤 克人

銀漢に地球の嘆き訴える
毘ひそむ都会の闇の誘蛾灯
掌を合わせ命いただく朝のめし

小柳 芳雄

体重計乗って元気を確かめる
公園のベンチに恋の花が咲き
お相手は居ますと自分チョコを買い

齋藤 弘一

洗い髪この娘も大人になってゆく
父の背を流す思いで墓洗う
終活に断捨離という荷の重さ

短歌

五ッ橋クラブ

川上 清

鉢植えの枝に巢懸ける幼蜘蛛
生きるいとなみ今日始めおり

田植期は里の若葉の柿の木に

白鷺映えて夕暮れんとす

雨戸打つ雨の太さと降る角度
床に想いて台風去るを待つ

随想



現代鮪考



五ッ橋クラブ 齋藤 光巧

1 東京築地市場の初せり

例年、東京築地市場のマグロ初せりは正月の華。平成25年の青森県大間産のクロまぐろは、海のダイヤとも呼ばれ、すしチェーン店「すしざんまい」社長が1億5540万で競り落とした。店舗前はTVカメラが並び、マグロを食べたいお客の列が続く、この人気が世界のクロマグロ漁獲量の7割を日本で消費する「マグロ大国」の正月風景である。

世界自然保護基金(WWF)は、魚類等の

海洋生物の固体数が1970〜2012年の約40年余で49%減少したと報告書を発表。特に食用魚類の減少が著しくマグロを含むサバ科は1970〜2010年の間に74%も減少、国際社会へ警告を発信「マグロ大国」の日本に世界の視線がむけられた。

2 大学卒のクロマグロ

平成24年近畿大学水産研究所は世界で始めてクロマグロの完全養殖に成功、昭和45年から研究、世界初の快挙となった。この報道から平成26年度入学志願者は10万5890人が応募し近畿大学が初の日本一となった。従前近畿大学は13学部48学科、学生数は約3万人のマンモス大学でイメージ戦略に成功、8年連続で女子学生が増加、薬学部55%、医学部33%、近大マグロで名を上げた農学部37%が女子学生である。

この人気を背景に養殖魚専門料理店「近畿大学水産研究所」1号店は大阪駅前グランフロント大阪に2号店を東京銀座に開店させランチタイムは長蛇の列ができる人気店となり、私も上京の折、近畿大学卒業証書が膳に乗る養殖クロマグロを美味しく頂いた。

3 江戸時代のマグロ

江戸時代にマグロは下魚(げざかな)であった、大トロや中トロは醤油をはじき脂と強烈な赤みを江戸っ子は下品と見なした。冷凍保存の技術も乏しく大型魚のマグロはさばきにひと苦労、脂の多いトロは腐りやすく鮮度の落ちが早い赤みを醤油に漬けた「ヅケ」が主流であった。マグロは大正時代、食生活の西洋化の中で脂っこい料理が主流となりマグロ

の脂と甘味が再評価され国民食となった。

すし屋の湯飲み茶碗は「魚へん」の漢字で埋めつくされている。「魚へん」の漢字が多いのは国土が海に囲まれた風土と先人たちの重層的な生活感が生み出したものであろう。鮪は魚へんと音読みのユウを表す「有」の組み合わせで成り立っている。鮪は常温で時間がたつと真っ黒になることから「まっくろ」から「まぐろ」に変化したといわれている。

4 マグロは脳の若返り

オバマ大統領は国賓として平成26年4月23日に来日、同日夜に東京・銀座のすし店「すきやばし次郎」で約1時間40分にわたり会食した。オバマ大統領に人生で一番のすしといわせ、日本のすし店は日本外交の重要な場となった。

マグロは現在、すしネタの代名詞、マグロの中で本鮪と呼ばれるものはクロマグロとタイセイヨウクロマグロの2種類。マグロの最高級はクロマグロ、ミナミマグロ、メバチマグロ、キハダマグロ、ビンナガマグロの順位で価格が安くなる。

マグロは良質なたんぱく質が約25%、中性脂肪やコレステロールを分解するEPA、脳の働きを良くするDHAも多く含まれ、認知症やボケ防止、高齢者の脳の若返りに役立つ

といわれていて、ダイエット食品でもある。特に赤身は低脂肪、低カロリーで鉄分やビタミンB12を含み貧血予防に役立ち長生きのための特效薬ではないだろうか。



料理の膳に付く近畿大学クロマグロの卒業書



近畿大学水産研究所の看板、2階が養殖料理専門店

ゴルフとの出会い



福島地区電友会 阿部 忠

電友会の皆様には日ごろ大変お世話になりありがとうございます。

私はテルウエル出身の阿部忠と申します。テルウエルは電気通信共済会から分離された会社で共済会の発足は電電公社と全電通組合とで発足した財団法人でした。

当時電電公社職員の災害事故から残された遺族の生活安泰と相互扶助部事業を担っていました。

その他物資販売や売店、食堂、理髪、清掃山荘、会館など職員の福利厚生全般を委託されてきました。

昭和37年電気通信共済会福島営業所に入会し、46年間お世話になりました。

当時、福島営業所の事務所には村上今朝喜所長以下6名の中で独身は私1人でした。

そのため遊ぶ相手はすべて電電公社職員の皆様方でキャンプ、スキー、ゴルフ、マージャンなどすべて教わりました。

中でも福島電気通信部長として赴任されてきた稲見保さんはカラーシャツで出勤しゴルフ

フがとても好きな人でした。たちまち福島電気通信部管内の役職員の皆さんがゴルフに好奇心を持ち始めました。

各職場にはアヒル会、モグラ会などのゴルフサークルができ共済会の物資販売ではハーフセットのゴルフクラブが飛ぶように売れたことが思い出されます。

電電公社福島管内の大会として福島通信部長杯が年2回開催されるようになりました。

私は営業活動を中心に福島県内の電報電話局で必要な物品等を販売する営業活動を22年間担当し各局の庶務課の皆様方や契約の皆様方に大変お世話になりました。

年2回の通信部長杯ゴルフ大会で一緒にプレーした人たちと各電報電話局で会うことにより親近感が深まり、共済会の営業に大きく貢献できたと自負しています。

また、電気電信事業の発展により新しく電話局が次々と開局され、営業成果が大幅に伸びて、仙台に次ぐ成績をあげ、表彰されたことがありました。

ゴルフでの付き合いが私の人生に大きく左右し、友人、知人関係を築き上げたことは私の生涯の宝であり、素晴らしいことだと思っています。

これには、NTT社員（電電公社）の皆々

様のおかげであり、改めて感謝申し上げますとともに厚く御礼申し上げます。

今でも電友会の南三県ゴルフ大会や福島地区電友会のゴルフ大会に参加させていただき旧交を温めて生活を送っています。

これからもゴルフを愛し、新しいゴルフ仲間の輪を広げて楽しい人生を送りたいと思っています。

最後に電友会会員皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

御所と公方様



電友あさか会 仲島 功

JR宇都宮線が開通して間もない頃である。古河駅に下車して、何とは無しに古河公方の御所を見たい衝動に駆られた。

タクシーの運転にまかせたところ、分からないらしく無線でのやり取りを聞くと「そんな事が分からないのか、〇〇公園まで案内すれば良いのだ」とのこと。

公方様の御所はあったが、期待はずれの想像外であった。

御所と云うと、京の都の「花の御所」と想うし、古河の地にあるのが疑問であった。

ところが、驚いたことに我が郡山市に御所があったし、公方様と呼ばれていた事があった。文中の写真は、その御所跡の記念碑である。そもそも室町時代は、鎌倉幕府の将足利尊氏を祖として京に都を置いたものである。

しかし、東国（関八州、伊豆、甲斐と東北）の支配を尊氏の次男基氏とその子孫に任せたことから鎌倉府と云う組織をもたせたことに始まる。

驚いたことに中央である京都の官職名まで名乗ったのである。鎌倉府の將軍を公方様、側近を管領と呼んだのである。上杉管領は良き例である。

室町幕府と鎌倉府の仲がいい時代は良かった。やがて、將軍継嗣をめぐる仲違いがおきた鎌倉府4代足利盛氏は野心家で時の將軍6代義教（万人恐怖の將軍と云われる）に謀反を起こし自害した。「永享の乱」である。

その後、盛氏の子を担いで幕府に反抗した戦いが「結城合戦」である。盛氏の3番目の子永寿丸が幼いため助命された。

東国の要請もあって、永寿丸改称して成氏と名乗り鎌倉府の公方となったが、室町幕府に反抗して結城市に近い古河市に御所を構えた。私が訪ねたのはこの古河公方の御所である。



郡山市内にある御所跡の記念碑

さて、古河公方の祖父は鎌倉府公方3代の足利満兼である。彼は東北の支配にあたり、陸奥と出羽の抑えとして、二人の弟を派遣し守護所を設けた。これが、御所である。次弟が足利満直ともう一人の弟が足利満貞。満直が郡山市にある「篠川の御所」。満貞が須賀川市にある「稲村の御所」に住んだ。二人とも公方様と呼ばれたと云う。この地は阿武隈川の対岸（須賀川は支流釈迦堂川）に守られており要所となっている。

鎌倉府と室町幕府の対立は続いており満貞は、鎌倉府に付いて「永享の乱」で敗死した。篠川公方満直は、室町幕府に付いて「結城

合戦」のおり惜しくも討ち死にした。御所は消滅。歴史は戦国時代を「応仁の乱」から始まると云うが、東国ではそれ以前既に始まっていた。そこで、これだけの史跡があれば御所風のドデカイ建物を作り歴史観光のPRに役立てたらと思っっています。「篠川御所」の文字は、現在では笹川読みが良い。近くには笹川酒造があつて合っている地名と思うのです。

ファーストエンペラー

電友あさか会 齋藤 弘

紀元前247年のはじめて中国を統一した一人の人物に思いをはせた。この人物こそ、中国戦国末期、秦王として即位し戦国六王を力で退位させ最初の皇帝として君臨した秦の始皇帝である。日本では縄文後期から弥生前期の頃の中国の実話である。秦の始皇帝の評価は功罪あい半ばしている。まず功の面では、戦国時代を終わらせたこと、各地へ素早く精鋭軍を派遣するための高速道の建設、貨幣・度量衡・文字の統一、郡県制度の採用、法制を確立したことである。罪の面では万里の長城・始皇帝陵・兵馬俑・阿房宮の造営など、次々

に大土木工事を興して、人民を泥炭の苦しみに陥れたことである。側近に多数の賢者がいたとしてもこれだけのことをなし得ることに敬服せざるを得ない。現代で注目されるのは人工物で宇宙からただ一つ確認できる万里の長城と地下に眠る兵馬俑の罪の面で、圧倒される規模には感動させられる。万里の長城は北の遊牧民の侵略を食い止めるための馬が飛び越えられない程度の黄土を固めた壁であった。兵馬俑は現在発見されている8千体に及ぶ彩色された様々な民族の实物大の地下軍団で、一人一人の風貌・髪型・履物までが違っている。13歳で即位した秦王はすでに自らの死を覚悟して死後に備えたというよりも肉体が死んでも永遠に続く精神の生を信じて作ったものである。また、不老不死を求めて家来の徐福に命じ妙薬を探させたが戻ってこなかった。徐福は5百の童男と5百の童女を連れて日本に渡り住み着いたという伝説となる。始皇帝は危険を顧みず君臨した帝国内の巡行を繰り返して、5度目の巡行で病死してしまった。息子の二世皇帝は始皇帝陵に葬ったのちに暗殺され帝国は滅んでしまう。司馬遷の史記によると、始皇帝陵の事業として72万人を37年間も動員し建設した。崩壊後、項羽が30万人を動員して盗掘し、30日をかけても副

葬品を運びきれなかった。地下宮殿を焼いた火は90日間も消えなかったという。

「期待&懸念」

現代にとって古代とは、過去の遅れた時代ではなく無限の知恵の宝庫とも言えよう。秦帝国は僅か15年で崩壊してしまっただが、中華帝国という体制はその後2200年の現在まで永遠と続いている。地下宮殿を現代技術のボーリング・透視すると川や海を水銀で表現するなどすばらしい地下宮殿が広がっているという。日中関係がまだ良いときに旅したが未発掘の地下宮殿を何とか見てみたい願望にかられる。一党独裁・多民族・貧富の差・公害の拡大・一人っ子政策による急速な高齢化等懸念が尽きない中国よ!!! いったいどこへ向かうのか??? 対岸の火事でなく高齢化と人口減で三割も国力が落ちるとされる我が日本は大丈夫であろうか???。

四国横断列車の旅



白河地区電友会 関戸 忠義

平成27年6月6日から4泊5日、初めて四国旅行を妻と行ってきました。

実は40年以上家内の両親と同居しており面

倒をみてきたことから、遠くへ宿泊旅行をする事ができなかつたのです。

やっと2人で旅行をするようになって3年目、年に2回くらい北は北海道から南は九州の鹿児島まで出かけられるようになりましたが、平成25年家内が不治の病の癌に身体を蝕まれ手術をしましたが再発し、元気なうちにいろんな所へ行ってみたいとの妻の要望もあり、妻と2人で同じ混声合唱団に所属している関係で、長年の夢であった鳴門市でのベートーベン交響曲第9番「歓喜の歌」の演奏会に参加することにしました。

1918年(大正7年)第1次世界大戦中鳴門市にあった板東俘虜収容所のドイツ人捕虜たちが人道的に接してくれた俘虜収容所の所長に感謝し、アジアで初めてベートーベン交響曲第9番「歓喜の歌」の全曲を演奏披露した初演の地なのです。

我々にとって生涯忘れられない思い出とすべく、土佐の高知を除く四国横断の旅となり徳島県で2泊し演奏会終了後に鳴門の渦潮・大塚国際美術館を見学し、香川県の琴平へ列車で移動、香川と言えばもちろん金比羅さん参り、昼食は言わずと知れた讃岐うどんを堪能し1泊、翌日は金比羅さん本宮で家内安全のお守りをいただき愛媛県へ移動、途中列車

の中から見る瀬戸内海の景色は素晴らしく時間の経つのも忘れる程。

気がついたら松山に到着し旅の疲れも出たのでホテルへ直行。翌日松山市内を観光見学し有名な道後温泉のお風呂にも入り旅の汗を流しリフレッシュし台風も近づいてきたので夕方の航空便で東京へ戻り、新幹線で無事帰宅。

慌ただしく駆け足の四国横断の旅でしたが忘れられない旅となりました。



鳴門市でのベートーベン交響曲第9番「歓喜の歌」の演奏会に参加

でんでんみちのく

川柳コーナー

新
コーナー

五ッ橋クラブ

一 風
そのうちね毎度のセリフいつなのよ
おめでたね嫁に声掛け自腹です
出る杭も届かぬ杭も悔いばかり

天道坊や
冷蔵庫何をとろうと開けたのか
一杯がいっぱいになる年金日
退職した鬼の上司好々爺
再就職賞味期限は五年間

飯倉 丈夫
会報は老いた頭の起爆剤
愛されて待たれて育つ新会報
夢にみた友の笑顔が会報に

山ボーイ
峠道翁 偲んで紅葉踏む

今回は初回でもあり、応募
作品を全て掲載しました。
お題は自由です。
お気軽に応募ください！

ストックもたわわに弾ませ山ガール
さあ行くぞ勇んで出たが妻先に着き

福島地区電友会

加藤 良栄

夕映えを見詰め端居のひとり酒
父の日を知らずに父は戦に死す
吾れも老い母の顔はと曼珠沙華
電友あさか会

黒川 幸正

ウォーキング山の酸素を独り占め
白菜も向こう鉢巻冬支度
ウイルスは冷たい空気好きらしい
千秋クラブ

柏谷 武

綱引きで若い振りして無理たる
非通知に耳を貸すほど暇じゃない

紅葉狩り行き交う人が秋の章

◆◆◆ 編集感想 ◆◆◆

「ちよつとだけリニューアル宣言」の一つ
として、「でんでんみちのく川柳コーナー」
を設けたところ、多くのご投稿をいただき、
ありがとうございます。

日頃の生活の中で感じたことを、ふっと
ツブヤイ”て、また明日を愉快に生きる、そ
んな一人ひとりが想像され、甲乙つけ難く全
てを掲載しました。今後も紙面の許す限り掲
載していきますので、どうぞ、次号にはもつ
と沢山の方の”今”をお寄せください。

川柳にも「今を生きる自分の視点を感じさ
せる」ものとか、「五・七・五の三句体」を基
本とすることなどのマナーやルールもありま
す。そういったことにも少しずつ慣れて行け
たら良いなと思っています。

本コーナーが、「人に感動」したり、「自然
に気づい」たり、あるいは「世相を眺め」た
りする中で起こる様々な出会いを五・七・五の
”ことば”にし、多くの会員の皆さんの”共
感の場”になっていければ嬉しいです。

次号締切まで、大いに遊び、悩んで、書き
とめ、選んで投稿してください。

多数のご参加をお待ちしています。

編集者（地方本部事務局 S・T）

● ● ● 編集後記 ● ● ●

◆今回も、沢山の方々のご協力で78号の発行にこぎつける事が出来ました。ありがとうございます。会報が、より多くの会員が参加でき、親しみやすいものとなるよう、今回から次の施策を組み込みリニューアルしました。

具体的には①「会員リレーコーナー」を作り、紙面上で東北の会員が縦横に行き来できるようにしました。②「でんでん みちのく川柳コーナー」を設けました。今回は自由テーマでしたが、引き続き、会員の皆様のウィットの効いた川柳の投稿をお待ちしています。

また、③日頃、沢山のご支援をいただいております「賛助会員企業様」の紹介コーナーを作りました。そこに働く会員の方から業務のお話やプライベートでの楽しみ等ご紹介いただきます。④更に、地方本部や支部・地区便り等も「読む」から「見る」に少しずつ変化させていきたいと思っております。

始めたばかりで思うように運ばなかった面も多くありますが、引き続き取り組んでまいります。長い目でご支援をお願い致します。

◆平成28年1月から「マイナンバー」制度が施行されます。

国民一人ひとりが12桁の番号を持ち、社会

保障や税等の手続きで大事な役割を果たすものです。PRのページを設けてありますので是非、ご覧ください。

また、早くも「マイナンバー」を口実にした「特殊詐欺」が出没しているとのこと。

マイナンバーの数字や現金を求める電話やメールは必ず詐欺です。絶対に乗らないようくれぐれもお気をつけください。

◆今年も申年。この干支の代表的な人は豊臣秀吉とか。器用で社交の才もあり繁栄する方も多いようです。昨年は、殺伐とした事件が多かった年でしたが、どうか今年こそ、お猿さんのように行動力を発揮して、みんなが明るく楽しく元気の良い年になることを期待したいものです。

◆78号の巻頭言は、NTT東日本宮城事業部長様にご協力いただきました。心より感謝申し上げます。

◆次号(79号)会報について

・発行時期 平成28年8月1日

・原稿締切 平成28年5月20日(期日厳守)

◆次号(79号)の巻頭言は、NTT東日本福島支店様、電友会福島支部にご協力をお願い致します。



東北電友会会報 第78号

平成28年1月1日発行

電友会東北地方本部

〒984-8519 仙台市若林区五橋3-2-1

NTT五橋ビル内

電話 022-212-1443

FAX 022-212-1444

印刷 株式会社 仙台紙工印刷

ちょっとだけ

東北電友会会報

「リニューアル」宣言!!

第78号から

従来から多くの会員が参加する「会報誌」作りに心がけてまいりましたがさらに多くの会員が「参加」し「より親しみやすい誌面」「読みやすい誌面」の会報作りをめざしていきます。

その1 「会員だより」のコーナーを 「会員リレーコーナー どうもしばらくです」にリニューアルします

- ・ご自分の近況や かつて同じ職場で一緒に過ごした仲間・昔の友人等との交流を200字～400字程度に書いていただき次の会員へリレー方式でバトンを渡していきます。
- ・顔写真または活動している様子がわかるような写真を掲載します。

その2 新たに「でんでんみちのく川柳コーナー」を開設します

- ・多くの会員が気さくにそして自由に投稿できるようにしました。
- ・ペンネーム可。
- ・一人3首以内。
- ・題目は自由とします。ただし、人を中傷するような表現は掲載不可とします。
- ・FAX、メール、郵便いずれも可。多くの作品をおまちしております。

その3 「賛助会員企業様コーナー」を新設します

- ・賛助会員企業様の会員から ご自分の会社の紹介や 余暇の過ごし方など1,000字程度にまとめて書いていただきます。
- ・顔写真または活動している様子がわかるような写真を掲載します。

その4 各地区電友会だよりを主体に地方本部だよりも「読む」から 「見る」ページへと変えます

- ・総会等も実施状況を写真で掲載し、説明は2-3行程度にします。

その5 写真を大きく掲載します

- ・「写真が小さく掲載されていて顔が見えない!!」「もっと大きく載せて!!」等の要望に応えられるだけ写真を大きく掲載します。

FAX 022-212-1444

メール keyaki@cocoa.ocn.ne.jp

郵便 〒984-8519 仙台市若林区五橋三丁目2-1

NTT五橋ビル内 電友会東北地方本部宛て

東北電友会会報 編集委員会